

2023年3月7日
フィデアホールディングス株式会社

当社代表者交代の理由及び指名委員会の経営幹部育成に係る基本的な方針について

当社は、昨日、代表者の交代を含む2023年4月1日付役員異動を公表し、指名委員会委員長及び新旧代表者による記者会見を開催いたしました。会見の席上、社外取締役 指名委員会委員長 福田 恭一より、下記の通り、代表者交代の理由及び経営幹部育成に係る基本的な方針について説明しておりますので、改めて、お知らせいたします。

記

※ 指名委員会委員長 発言要旨

(代表者交代の理由)

現在の代表執行役社長である田尾 祐一氏は、2016年に社長就任後、マイナス金利政策導入後の大きな環境変化に対応し、第3次、および第4次の中期経営計画により、特に荘内銀行、北都銀行の顧客部門の体質改善に取り組んできました。

金融緩和政策の長期化により貸出金利回りが低下し、顧客部門は赤字の状態となっていました。法人及び法人オーナー層の営業推進体制の再構築、抜本的な経費構造の見直しなど、大きな経営改革に取り組み、第4次中期経営計画の目標であった顧客部門業務純益の黒字化を、昨年度、既に達成しており、今年度も黒字を維持できる見込みであります。また、今年度はマーケットに動揺が走っており、先般発表しました第3四半期決算の通り、市場部門収益は減少していますが、第4次中期経営計画の目標指標としている連結純利益 30 億円という水準を達成できる、筋肉質な経営体質への改善が進んだと考えています。加えて、信用リスクや市場リスクなどのリスク管理の高度化、両行業務の更なる共通化による統合の進化等、経営管理のレベルアップも実現できていると考えています。

先般、2023年2月27日には、自己資本の積み上がりと収益性の改善を背景として、長年の懸案であった公的資金の完済を実現することができました。また、2023年度より、新しい中期経営計画がスタートすることもあり、社長交代は、このタイミングがベストであると判断しました。

次の社長となる専務執行役 新野 正博氏は、2019年に執行役就任後、CMO（最高マーケティング責任者）として両行の営業部門、顧客部門を統括しているほか、人事部門も担当しています。この間、田尾 祐一氏が進めてきた顧客部門の大改革を実務面から支えてきたこと、加えて、現在、人事部門や人材育成の重要性が改めて見直される中で、新社長として、新しい中期経営計画を実行に

移す変革力、実行力に申し分のない人物であり、これまでの改革の勢いを加速させられると考えています。

今回の人事については、昨年秋以降、指名委員会を中心に社外取締役及び非業務執行取締役の全員で議論してきたもので、全員一致の結論でした。

(指名委員会の経営幹部育成に係る基本的な方針について)

当社指名委員会としての今後の経営幹部育成の考え方について説明いたします。

現状、当社グループの経営管理は外部人材が中心に担っています。私が着任した時も経営管理部門の人材が不足していたことから、外部人材を活用せざるを得ませんでした。今後は内部人材の登用に努め、既に徐々にではありますが内部人材が育ちつつもあり、将来的に最高幹部にも内部人材を登用していきたいと考えています。別の言い方をしますと、経験やノウハウが不足している部門のみ外部人材を活用する考えです。地方銀行として、地域経済をはじめ、地元で詳しい人材を登用することが望ましいと考えているからです。今回の役員人事において、CMO（最高マーケティング責任者）が内部人材に変わっていますが、この事も将来の当社グループの方向性を示したものです。

以 上

本件に関するお問い合わせ先：IR グループ 大石 (TEL022-290-8800)